

先月の親子仏法の集い

—どんな活動をしているの？—
5月17日(日)の活動を紹介します

*親子仏法の集いでは、毎月標語と目標があります。
仏教のことばから、わたしたちの日々の目標を考えます*

5月の標語 「念仏」(ねんぶつ)
目標 —正しいお参りのしかたを知る—

1、念仏(ねんぶつ)ってなあに？

念仏とは、「南無阿弥陀仏(なむあみだぶつ)」ととなえることです。
「浄土真宗では、念仏をただ口でとなえれば救われるのだ」と言う人がいますが、これはあやまりです。

私たちは、怒ったり、人をうらやましく思ったり、ものをほしがったりしてしまい、日々おだやかな気持ちでいることはなかなか難しいですね。阿弥陀さまは、そんな苦しみ悩む私たちをかわいそうに思って、必ず一人ももらさず救うぞ、と誓われました。そのお誓いに気づき、ありがたさに心がふるえて、ただひたすらに、うたががなく阿弥陀さまのお誓いをたよりとすること、すなわち阿弥陀さまのお心を、私たちが信じていただくこと、それを「信心」といいます。

2、何のために念仏をとこなえるの？

しんじんしょういんしょうみょうぼうおん
「信心正 因 称 名 報 恩」といって、私たちはお念仏をとこなえたから救われるのではなく、信心をいただいはじめて救われるのです。そして、信心をいただくと、よろこびとありがたさでいっぱいの毎日になります。救ってくださる阿弥陀さまのご恩におくいたい、救ってくださる阿弥陀さまにありがとうございます、と言いたい—この気持ちが自然と、「念仏」になって、私たちの口から出てくるのです。

阿弥陀さまは、私たちの苦しみの心が晴れやかな心になるよう、いつも見守ってくださっています。そのお優しい阿弥陀様に感謝する心をもって、「南無阿弥陀仏(なむあみだぶつ)」ととなえましょう。



職員手作りの紙芝居で、仏教説話に親しみましょう

今月の法話：「ほとけのひがさ」

草原に、若い羊飼いの男が座っていたところ、お弟子をつれたお釈迦さまが通りかかられた。

行列はみんな暑さにまいていっているようだった。

男はそれがお釈迦さまとは知らなかったが、このままだと倒れるかもしれないと思い、そのあたりの草をかき集めて柄をつけ、日傘をつくってその人のもとへかけつけた…

今月は、ほんもののやさしさとは？について考えるおはなしでした。
来月はどんなおはなしが聞けるかな？楽しみにしててください♪



* 今月の菜園活動 *

とうもろこし・トマトの植え付け 落花生（らっかせい）の種まき

1) とうもろこしとトマトの植え付け

苗の植え付けをしました。いつ収穫できるかな？



2) 落花生（らっかせい）の種まき

はじめに、菜園係のお姉さんから落花生の育ち方を教わりました。

種は水につけてやわらかくしておき、横向けに2つ（もしくは3つ）並べて、30センチ間隔で受けるのがポイントです。



3) 水やり

今日植えた苗と種に水やりをしました。暑さに負けず、大きくおいしくな～れ！



菜園日記

—あみだっこ菜園の「いま」をお伝えします—

今、畑では他にじゃがいもが順調に育っています。先月植えたには芽が出始めていました。じゃがいもは順調にいけば次の活動で収穫できそうです。



じゃがいもはすくすく育っています



にも芽が出てきました！

親子仏法の集い「あみだっこ菜園」は、送迎バス乗り場の近くにあります！
参詣の折にのぞいてみてくださいね★

—親子仏法の集いの流れ—

- 10:00 仏さまにお供え・合掌・礼拝して始まります
 - 10:10 今月の標語と目標について考えよう
 - 10:20 法話—仏教説話の紙しばい—
 - 10:30 菜園と野菜のお話
 - 10:40 その月の活動（晴：菜園での活動 雨：屋内での活動）
 - 11:40 合掌・礼拝
- 仏さまのお下がりのお菓子をいただきます
—お誕生日のお子さんのお祝い—



「お下がりをいただく」ということを最近あまり聞かないかもしれません。
いただいたお菓子や果物などは、まずお仏壇の仏さまにお供えて、合掌礼拝する。
その後、仏さまのお下がりとして、そのお菓子をいただく—
親子仏法の集いでは、この作法とこころを大切に、子どもたちに伝えていきます。

古きよき日本人のこころを育てた仏さまの教え。
野菜づくりや、さまざまな体験を通して、一緒に成長しましょう！

**親子仏法の集い参加希望の方は、東本願寺東山浄苑

TEL **075-541-8391** まで(毎日 9:00~17:00)**